

メインセッション	
<b>市場「共創」に向けて</b>	
IBMは、共創ビジネスの加速に舵を切っています。セッションでは、この取り組みを事例を交えてご紹介しますとともに、新たな共創ビジネスの目指すところをわかりやすくご説明します。	日本アイ・ピー・エム株式会社 執行役員 テクノロジー事業本部 パートナー・アライアンス事業部長 村澤 賢一
<b>ロチェスター研究所探訪：IBM iノバージョンの核心に迫る</b>	
米国ミネソタ州にあるIBMロチェスター研究所は、IBM i誕生の地として広く知られています。10月上旬に行われた「ロチェスター研究所スタディー・ツアー」の参加者が現地を得た情報や、研究所やロチェスターの街の様子など、最新情報をいち早くお届けいたします。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power事業部 久野 朗 同 Associate Power Technical Specialist 吉岡 さくら 株式会社アイエスケイノポート ソリューション開発部 主任 佐藤 完 株式会社イグアス デジタルセールス本部セールスDX推進部 垣花 好彦
<b>iWorld Web 1周年を振り返って～IBM iユーザーの進む道大討論！</b>	
IBM i専門集団のiBIAライアンスとIBMテクニカル・セルスの「IBM iのプロ中のプロ」が、開設1周年を迎えた「iWorld Web」の人気記事ランキングからこれからの「IBM iユーザーの進む道」を解説し、熱く議論いたします。	株式会社クレスコ・ジェイキューブ 代表取締役社長 深井 淳 株式会社福岡情報ビジネスセンター 東京オフィス マネージャー 橋 孝子 日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power Technical Sales 佐々木 幹雄
<b>IBM iこれまでの35年、これからの35年～UOSと共に～ &lt;11/22生中継&gt;</b>	
「POWER UPソリューションフェア 2023」が開催される秋葉原UDXから、特別セッションを生中継！ IBM Power事業部長の原 寛世氏、長年IBM iのエバンジェリストとして活躍されているベル・データ株式会社安井 賢克氏、UOS理事の山中 進氏をお迎えして、IBM iの35年を振り返り、またこの先を占うディスカッションを展開いたします。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power事業部長 理事 原 寛世 ベル・データ株式会社 IBM Powerエバンジェリスト 安井 賢克 株式会社Social Link 代表取締役、UOSグループ理事 山中 進

技術セッション	
<b>IBM i Strategy &amp; Roadmap : integrate + innovate</b>	
IBM iのチーフアーキテクトであるSteve Willが、IBM iの35周年のお祝いの様子を振り返りつつ、世界中で使われるこのプラットフォームの製品戦略やそれに基づいた製品開発について説明します。さらには世界中のお客様の中から先端的な使い方をとっている事例もご紹介いたします。	IBM, IBM i, CTIO, Distinguished Engineer Steve Will
<b>RPQ and SQL : Two Powerhouses of IBM i</b>	
RPQとSQL、IBM iの世界では昔からお馴染みの2つの開発言語の最新の姿をご存知でしょうか？この2つの組み合わせが今日現在いかにモダンで開発生産性に優れているかを、最新のRational Developer for iやVS Code for iといった開発ツールと共に具体的にご説明いたします。RPQ IIIやSEUでは想像もつかないモダンなアプリケーション開発の実態を是非体感ください。	Central Park Data Systems, Inc. President Charles Guarino
<b>IBM Watson機能を統合したIBM i (Db2 for i)による地理空間分析機能のご紹介</b>	
地理空間機能は、IBM Db2 for iに組み込まれました。IBM iユーザーは、SQLを使用して、Watson地理空間テクノロジを簡単に利用できます。地理空間分析を利用して、地理的特徴に関する地理空間分析を生成、分析し、その情報のベースとなるデータを保管、管理する方法をご紹介します。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power Technical Sales 澤田 英寿
<b>SQLを使ってIBM iを確でもっとかんたんに♪</b>	
SQLは現代において最も普及しているシステム操作言語だ、という事があります。それを単純にデータベース構体にとどまらずあらゆるシステム領域でSQLを有効化する基盤が整備されつつあります。このセッションでは従来はできない、「SQLを使っていたIBM iの運用管理効率化」の方法を実際のSQL文を踏まえてご紹介いたします。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power Technical Sales 佐々木 幹雄
<b>IBM Navigator for iの活用で運用管理をもっと楽に！</b>	
IBM iの運用管理では、5250画面、グリーンスクリーンのみならず、モダナイズされたWebベース・ツールであるNavigator for iを標準機能で使うことができます。このセッションでは操作性が向上され、複数区画のIBM iを管理、監視しやすく機能拡張された最新のNavigator for iの画面を用いて、運用管理に役立つ機能をご紹介します。	日本アイ・ピー・エム株式会社 Associate Power Technical Specialist 吉岡 さくら
<b>IBM Power Systems Virtual Server (PowerVS) 最新情報のご紹介</b>	
お客様のシステム環境にコスト最適化と柔軟性を持たせることが可能な、IBMがご提供するIBM i / AIX / Linux on PowerのクラウドサービスであるIBM Power Systems Virtual Server (PowerVS)は、去年に引き続き2023年も大きな進化をしております。このセッションではバックアップやネットワークなど新機能を紹介しますとともに、国内外の事例情報をご紹介します。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power Technical Sales 中田 淳
<b>IBM iでのNVMe 構成と考慮点</b>	
IBM Powerで構成可能な内蔵ディスクは、SASドライブからNVMeドライブへ変更されました。当セッションでは、IBM i環境でのNVMeドライブ構成について、Namespace作成、複数区画構成、冗長化、拡張ドライブ構成と考慮点について説明します。	日本アイ・ピー・エム株式会社 IBM Power Technical Sales 三神 雅弘
<b>Db2 for i SQLパフォーマンス・ツールのご紹介</b>	
IBM iの基幹データを活用するモダナイズされたアプリケーションの開発にはSQLは欠かせません。SQLは従来のRPQによるデータ・アクセスとは異なったパフォーマンス最適化のアプローチが必要になってきますが、Db2 for iではVisual Explainなど、SQLの実行パフォーマンスを把握、最適化するためのツールが各種用意されており、当セッションではこれらのDb2 for iで使用できるパフォーマンス・ツールについてご紹介いたします。	日本アイ・ピー・エム株式会社 テクノロジー・エキスパート・ラボ Powerデベロッパー/シニアITスペシャリスト 中村 陽一
<b>LTO5/6ドライブの保守サービス終了への対応と技術的な考慮点</b>	
IBM iのバックアップ装置として広く活用されているIBM LTO5/6ドライブの一部モデルが、2023年12月と2024年12月に保守サービス終了を迎えます。当セッションではお客様の用途別の対応方法と、最新テクノロジのLTOドライブへ置換える際の技術的な考慮点を解説いたします。	株式会社イグアス システム製品営業部 松本 唯一

事例セッション	
<b>製造業、卸売業、倉庫業 IBM iユーザー 業務改善事例～IBM iをインターネット公開！Next B2Bのご紹介～</b>	
オムニサイエンスの製品NextB2Bの特徴は、IBM iスキルで簡単に取引先向けWebサイトが作れることです。すでにIBM i連携のインターネット公開Webサイトを作るため、すでに業務改善につながります。ご視察をお待ちしております。	株式会社オムニサイエンス IBM i営業本部 営業推進部長 朝倉 啓孝
<b>基幹システムをPowerVSへ移行。コスト削減と品質向上を実現したノウハウ大公開！</b>	
当セッションでは次期システムをPowerのオンプレとクラウドで迷われている企業様に、クラウドを選択され、周辺サーバーもクラウド化することで「経費課題解決」と「コスト削減」の両面を実現できた事例をご紹介します。また、基幹Powerを含めたシステムのAllクラウド移行でシステム全体のコスト削減と運用負担削減を可能とする「BCCのクラウド移行のノウハウ」もご紹介いたします。	IBCC株式会社 ハイブリッドクラウド事業部 クラウドDX本部 テクニカル推進部 IBM Power担当 豊村 洋二
<b>IBM i 活用事例 ～ 技術者不足の克服と DX 推進</b>	
将来の技術者不足の懸念を抱える中で、どのようにしてDXを推進すべきかという課題は、IBM iの多くのお客様にとって共通のものと言えそうです。RPG など旧来のアプリケーション資産が足糧になっているという見方がある一方で、システムで済める機能を知り、冷静にそれを評価することで道が開けます。当セッションではこれら二つの課題を同時に解決できたお客様事例を紹介します。	ベル・データ株式会社 Power 事業部 / パワーシステム・エバンジェリスト 安井 賢克
<b>2025年の崖から這い上がるシステム開発</b>	
IBM iの人材不足が叫ばれている時今、IBM Powerからオープンシステムへの移行を検討されるユーザー様もいらっしゃると思います。しかし、IBM iは常に進化し、他のシステムと比べ柔軟性、堅牢性、可用性が高い機械であることは周知の事実です。IBM iをこれからも利用し続けるために、IBM i MerlinやLANSAを活用したシステム開発・運用方法をご紹介します。	日本オフィス・システム株式会社 ソリューション営業本部ソリューション戦略室/チームリーダー 松本 啓輔
<b>IBM i 基幹システム運用と業務改善を一気に [kintone] で解決！データ入力から周辺業務まで全体効率アップを実現</b>	
事業を取り巻く業務環境は常に変動しているもの。基幹システムの機能だけで対応できず現場では手作業による煩雑な「前置き」が生じています。NDIソリューションズでは業務改善プラットフォーム [kintone] を利用し、手作業での処理・業務改善を解決する手法をご紹介！増大する業務負荷環境の改善を図りながらIBM i 基幹システムの運用と周辺業務の改善をご提案いたします。	NDIソリューションズ株式会社 ソリューション戦略本部第2ソリューション戦略部 第2ソリューション戦略課 西村 博行
<b>流行りのAPI、どう使えばいい？悩めるIBM iユーザーへの実践ガイドセミナー</b>	
「API」という言葉をお聞きになったことがある方は多いと思います。IBM iとkintoneなどのローコードツールを組み合わせて、業務プロセスを迅速にかつ効率的に改善できるのはご存じだと思いますが、その方法について悩まれているのではないのでしょうか？弊社のPower Modernization ServiceでIBM iのポテンシャルを最大限に引き出し、画面のローコードツールと組み合わせる最新のAPI活用方法をご紹介します。	株式会社福岡情報ビジネスセンター IBM i PROFESSIONAL事業部 東京オフィス マネージャー 橋 孝子